

平成30年3月期 決算について

平成30年5月8日
JFE鋼板株式会社

平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	61,395	9.3	1	△ 99.8	△ 19	-	△ 114	-
29年3月期	56,174	△ 3.3	749	-	△ 553	-	33	-

注 連結子会社数 30年3月期 5社、29年3月期 5社
持分法適用関連会社数 30年3月期 1社、29年3月期 1社

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	53,786	8.9	△ 247	-	△ 18	-	△ 220	-
29年3月期	49,411	△ 3.8	695	-	△ 548	-	107	-

【当期の概況】

当社の主要な販売先である国内薄板建材の需要について、新設住宅着工戸数(持家)は前期比△3.3%と減少し、低い水準が続いております。一方、新設非住宅着工床面積は、人手不足による工事遅延は見られますが、旺盛な物件需要があり、前期比+4.4%で推移しました。

【当期の損益】

当期において、当社は原板価格の上昇、亜鉛・アルミ価格の高騰等の大きな環境変化の影響を受けました。また、上期における千葉溶融亜鉛めっきラインの設備トラブル等で収益悪化を余儀なくされました。(なお、現在トラブルは解消しております。)

この結果、当期の連結経営成績は、売上高は61,395百万円で前期比+5,220百万円の増収、経常利益は1百万円(前期比△747百万円)と黒字を確保いたしましたが、当期純損失は114百万円(前期比△147百万円)となりました。

【次期の見通し】

原板価格やアルミ価格のさらなる上昇、亜鉛価格の高止まり等、当社を取巻く環境は引続き厳しい状況が続くと予想されます。この環境下で対処すべき課題として以下の施策を展開し、連結・単体ともに黒字化を目指してまいります。

1) コストダウン:

安定操業や物流費の圧縮等により徹底したコストダウンの継続をしてまいります。

2) 価格改善:

原材料高騰やタイトな需給環境をお客様にご説明し、値上げに対するご理解をお願いしてまいります。

3) 建材商品の拡充・プロミックスの改善等:

建材商品を充実、関係会社を通じた工事分野へ力を入れてまいります。また、高付加価値商品拡販による販売プロミックスの改善、新屋根商品のご提案と拡販、ご好評いただいておりますシステム軽量鉄骨「フレームキット」の拡販を推進します。

以上